

# 農場通信 2026年 2月号

2026/1/27

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2026/1/17 ④ 2026/6月

品目		
<div>栽培中</div> <div>栽培準備中</div> <div>今月最終</div>	圃場写真①	圃場写真②
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		大玉トマト 年内作
		大玉トマトの品種比較栽培を行っているハウスです。1作目は栽培終了し、現在2作目を栽培しています。  定植日は1月17日 品種比較試験以外にも栽培試験も行っています。現在は1段目が開花し、調査を随時行っています。温度管理は日中24度程度で少し高めに設定しています。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2026/6月末 ① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月

ミニトマト		
<p>【1/22 環境状況】</p> <p>7月4日に播種、7/28定植。 今作も20品種の比較試験を行います。 高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマで栽培。 給液EC2.6、給液量1400ml/株で管理。 12-18段目を収穫中。現在18-22段目が開花しています。果実の着色がまだらのため葉かきを多くして光に当たるよう対策注。コナジラミが飛んでいるので、週1回消毒を行いコナジラミ対策をしています。</p>		大玉トマト 抑制長期作 (年1作)
<p>【1/21 環境状況】</p> <p>7月28日播種、8月19日定植。 今年度も20品種の栽培を行っています。 「耐裂果性」・「短節間」・「バランス型」・「玉肥大」の4テーマで栽培中。給液EC2.4、晴天時株あたり1400ccほどで管理を行っています。  現在、13~15段が開花中。コナジラミが増えているので、気門封鎖剤やフロメトキン剤の散布を行いました。</p>		

① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2026/4月末 ① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2025/9/26 ④ 2026/5月末

バラエティ トマト		
7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。  葉面散布によって草勢は良好です。収量も増加傾向にあります。品種によっては通常より大玉で収穫が来ています。一部品種はスタミナ切れが出ていますので、葉面散布等でカバーしていきます。コナジラミの発生は少ない状態をキープしていますので、薬剤散布は引き続き行っていく予定です。		イチゴ
		9/26、10/1に定植。品種比較、ク라운温度制御、重量灌水制御の試験を実施中。 EC0.7、給液200mlで管理。 継続的にハチやハナアブで受粉しています。全体的に収穫が始まっています。早いものでは二番花が収穫中です。 先月にがく枯れやチップバーンが発生し、カルシウム剤散布や灌水量増やすなど対策を行い現在は新葉に出ていない状態です。

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験品種比較試験 ③ 2025/10/14 ④ 2026/4月末予定 ① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/15 ④ 2026/7月頃

キュウリ		
<p>【1/20 環境状況】</p> <p>ココバッグを使った養液栽培での品種比較試験を行っています。今作は10/14日に定植。穂木品種8種、台木品種4種で栽培中です。 年末年始は概ね晴天が多く、収量は順調に伸びています。1月中旬時点で最も多い品種で反収換算12トン超。CO2は誠和真呼吸を使い1000ppm程度で施用、それに合わせて、温度管理は夜温15℃、日中27℃と昨年同時期よりもやや高め、給液ECも3.0程度と高めの管理をしています。(光合成の増加分だけ、生長を早める狙い)。日射量の最も少ない時期は乗り越えたので、今後はさらに収量が伸びてくると思われます。</p>		高糖度 ミニトマト
<p>【1/20 環境状況】</p> <p>穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。 定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。 11月末までに排水ECは20.0を超えて、ECストレスは十分に掛かっていますが、品種により草勢が強いままのものも見られます。糖度も品種により10度を超えるものと、8度程度のものまで差が見られます(概ね草勢に比例)。換気設備は簡易で、ミストもないハウスですので、あまり精密な環境コントロールはしていませんが、調子は良さそう。今後は日射量の増加に合わせて灌水を増やし、給液ECは現状4.5程度から徐々に下げていきます。</p>		



豊かさ実る、タネを。  
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007  
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015  
URL <https://www.toyotane.co.jp/>  
E-mail [info@toyotane.co.jp](mailto:info@toyotane.co.jp)



① 第6

② キャベツ品種比較試験

③ 2025/8月～

④ 2026/春



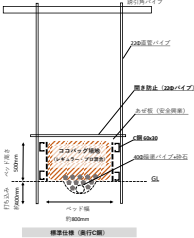
キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/28播種 11月収穫 ③8/8播種 12-1月収穫 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫 春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫		年内・年またぎ品種の調査は終了し、今後は在圃性を見ていく状態です。1月収穫目安の品種がどこまで引っ張れるか。春系品種も一部収穫が始まっています。例年より平均気温はやや低めであり、春系品種はやや遅れ気味です。年明け以降はさらに気温が下がり、降雨が全くないので低温乾燥のため生育が停止状態。2月以降収穫の品種は、少し動かすために様子を見ながら追肥と灌水を行います。

① 第3 M

② アスパラガス柵板式高畝栽培試験

③ 2023/6/2定植

④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。柵板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。2025年の収穫は10月末で終了。その後、年明けに地上部の刈り取りを行い、少し培土が減ったので、使い古し(キュウリで3年使用)のココバッグを投入して増土を行いました。

① 第8

② 『持続可能な施設園芸』実証試験

③ 2025/8/22

④ 2026/7月末

大玉トマト		
		7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。  草勢としては良好です。LEDライトと天敵資材を用いて、害虫防除を行っています。葉かきをこまめに行い、着色を少しでも早くするようにしています。収穫段数は8段程度です。葉面散布剤を使用しながら、草勢管理をしていきます。

① 第2

② ブロッコリー

③ 2025/08～

④ 2026/春

ブロッコリー		
1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日定植 7作目 9月19日播種 10月15日定植 春作① 12月15日播種 1月下旬定植予定 春作② 1月13日播種		現在、5作目を収穫中です。雨が少ない影響が大いと思いますが、生育が停滞している状態です。  春作については、1月下旬と2月下旬以降と2作型を今後定植していきます。

① 施設栽培

② バコトップ放飼防除試験

バコトップ		
今作も、昨年度に引き続き、タバコカスミカメ(商品名:バコトップ)の放飼を行っております。  キュウリでは、大きな問題もなく栽培中です。 トマトでは、一部でコナジラミが増えていることから、気門封鎖剤や吸汁阻害剤などを散布しています。先月記しました、クレオメのうどん粉病については、ポリオキシン複合体剤の散布により、落ち着いています。		

① 第7

② 産直野菜

③ 2025/10～

④ 2026/初春

産直野菜		
		根菜類。葉菜類ともに見ごろを迎えています。3月上旬～中旬までの栽培を予定しています。  皆様のお越しをお待ちしております。



豊かさ実る、タネを。  
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007  
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015  
URL <https://www.toyotane.co.jp/>  
E-mail [info@toyotane.co.jp](mailto:info@toyotane.co.jp)